

## 千歳線 南千歳・新千歳空港間の加算運賃について

当社では、新千歳空港アクセス輸送開始の設備投資にかかるコストに充てるため、平成4年7月より千歳線南千歳・新千歳空港間を乗車される場合、加算運賃をいただいておりますが、令和4年度末の現状は以下の通りです。

	累 計	[直近年度]
設備投資額 (A)	173億円	
支払利息、使用料等累計額 (B)	172億円	[ 2.2億円]
加算運賃収入累計額 (C)	312億円	[ 1.8億円]
基本運賃収入からの回収累計額 (D)	0億円	[ 0億円]
回収率 (C+D) / (A+B)	90%	

当社の鉄道事業に関する収支状況は大変厳しい状況ですが、当該線区については空港アクセスという非常に重要な使命を有しているものと認識しており、初期投資の他にも追加の設備投資を実施し、安全・安定輸送の確保や旅客サービスの向上に取り組んでいるところです。

なお、加算運賃については、設備投資額等の回収が順調に推移してきたことから、令和元年10月1日の運賃・料金改定にあわせて、140円を20円に引き下げました。今後につきましても、回収状況を勘案しながら検討を進めてまいります。

## 北海道旅客鉄道株式会社の加算運賃について

平成4年7月設定

南千歳～新千歳空港(2.6キロ) 20円

※令和元年10月より140円から20円に引き下げ

### 【加算運賃に係る資本費コスト及び回収額】

(単位:百万円)

年度	過去5ヶ年					R4年度までの累計額
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
A 設備投資額	17,328					17,328
B 施設使用料・支払利子等	221	220	222	222	221	17,163
C 加算運賃収入	1,493	876	75	103	175	31,188
D 基本運賃収入からの回収額	0	0	0	0	0	6
年度末累計額による回収率	89.2%	91.2%	90.8%	90.5%	90.4%	90.4%

$(C+D) / (A+B) \times 100$

### 【鉄道事業収支】

(単位:百万円)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
営業収入	旅客運賃	71,208	70,610	35,473	40,372	58,583
	運輸雑収	10,668	10,293	9,000	8,630	8,703
	計	81,875	80,903	44,474	49,001	67,286
営業費用	人件費	42,518	42,090	40,185	38,955	39,396
	修繕費	35,722	36,632	35,140	34,469	35,355
	その他経費	34,988	34,541	30,723	32,393	37,847
	諸税	2,595	3,011	2,842	3,201	3,001
	減価償却費	21,980	20,662	20,265	19,492	18,242
	計	137,803	136,937	129,156	128,511	133,841
営業損益		-55,928	-56,034	-84,682	-79,509	-66,555
営業外収益		30,364	30,057	34,197	51,724	23,514
営業外費用		630	817	805	1,591	844
経常損益		-26,193	-26,794	-51,290	-29,376	-43,885
特別利益		-	-	-	-	-
特別損失		-	-	-	-	-
税引前当期純利益		-26,193	-26,794	-51,290	-29,376	-43,885
法人税等(調整額含む)		-863	-1,003	-530	265	-801
当期純利益		-25,331	-25,791	-50,760	-29,641	-43,084
配当所要額		915	915	905	906	905
最終損益		-26,246	-26,706	-51,665	-30,547	-43,989
基本運賃収入割合	全線	69,715	69,734	35,399	40,269	58,407
	加算区間	524	558	213	294	507
	比率	0.8%	0.8%	0.6%	0.7%	0.9%

加算区間に係る按分額(鉄道事業最終損益×基本運賃収入割合(損失の場合は0))

基本運賃収入からの回収額	0	0	0	0	0
--------------	---	---	---	---	---